

小川湯ノ瀬発電所 事業概要

株式会社 KANSO テクノス

株式会社 KANSO テクノス（本社所在地：大阪府中央区、代表取締役社長：岡田達志）は、長年にわたり水力発電所の調査・設計および保全業務に従事してきた経験と技術力を活かし、地域社会との共生を重視した持続可能な水力発電所の建設・運営を推進しております。

小川湯ノ瀬発電所は、富山県下新川郡朝日町において発電出力 999 kW の水力発電所を、2026年5月より着工し、2028年6月(予定)から発電を開始を予定するものです。

年間予想発電量は 6,961 MWh に達する見込みで、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT 制度）を活用し、発電された全電力を 20 年間、北陸電力送配電株式会社へ売電いたします。

本事業の推進にあたっては、朝日町の豊かな自然環境を尊重するとともに、地元住民の皆様および自治体関係者の皆様とのご協力とご理解をいただきながら進めてまいります。

発電所概要

項目		諸元
発電計画	名称	小川湯ノ瀬発電所
	所在地	富山県下新川郡朝日町山崎
	水系・河川名	(取水)小川水系・小川・小川支流尾安谷 (放水)小川水系・小川
	流域面積	6.26 km ²
	発電方式	水路式【流れ込み式】
	最大出力	999 kW
	最大使用水量	0.86 m ³ /s
	最大有効落差	150.2 m
	年間可能発生電力量	6,961 MWh
	CO ₂ 削減量	年間約3,160 t (※)
設備概要	取水設備	バースクリーン底部取水型 (チロリアン方式)
	導水路	FRP・FRPM管 内径0.8m、外径0.832m、延長1,831m
	発電所	地上式 鉄骨造
	水車・発電機型式	ターゴインパルス水車・同期発電機
	着工	2026年 5月
	運転開始	2028年 6月
	発電事業者	株式会社 KANSO テクノス

(※) 1kWh 当たり CO₂ 削減量：0.454kg-CO₂/kWh(一般送配電事業者全国平均値 R7 年度)から算出

